

高松体指犬より

VOL. 26



H20.2.24 第20回 混成ソフトバレーボール大会
於:香川総合体育館



H20.1.26~27 四国地区体育指導委員研修会 於:鳴門市

**めざせ
オンリーワン!!**

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~taishi-takamatsu/>

第28回

さわやかママさん
ソフトボール大会

優勝チームコメント

チーム花園 代表 英 直子

気持ちの良い秋晴れの中、3年振りに優勝することが出来ました。「うれしーい」出産の後帰ってきたメンバーや新婚さん。新旧入り交じって、仕事や家事、子育てをしながら時間を作って練習し、大好きなソフトをチームワークで掴んだ結果です。対戦したチームの方々と交流が出来て本当にさわやかな二日でした。体指の方々、花園体協の皆様、情交流のメンバー
ご指導、ご声援あり
がとうございました。
「チーム花園バンザーイ！」

成績発表

- 優勝 花園校区
- 準優勝 円座校区
- 第三位 仏生山校区



第9回

六十歳以上男子スローピッチ
ソフトボール大会

優勝チームコメント

木太南チーム 監督 森 武信

★勝因は？

チームワークの良さがすべてだと思います。
★一番苦戦したのは？
立ち上がりの二回戦（宮戦）体の調子がありません。

★今日の祝勝会は？

盛りあがるでしょう！！
ほどほどに…

★平均年齢 六五・八歳

部員コメント

国分寺北部校区 長谷川 貢

大会テーマである「気持ちは青年・心も身体も若さに負けずハッスルプレー」のもと、大会が開催されました。各チーム「ナイスプレー！」や「どんまい！」等の声飛びあがり、勝負にこだわりながらも和気あいあいと楽しそうにプレーしていました。六〇歳以上の選手でしたが、我々が若さをもらった二日でした。皆さんお疲れ様でした。

第10回

元気ハツラツ &
クイーンズカップ

ドッジボール大会

ドッジボール部長 片山登貴子

今年最後の行事である元気ハツラツ & クイーンズカップドッジボール大会が十二月十六日（日）に市総合体育館において行なわれました。

第十回を迎えるハツラツの参加は十五チーム（当日一チーム棄権）、クイーンズカップは記念すべき第一回を十チームでのスタート

トとなりました。予選リーグは一試合五分一セット、決勝トーナメントは一試合五分三セットで行ないました。審判の笛の音で緊張感のはりつめる体育館。応援で盛り上がり、活気のある試合の連続でした。準備不足がありました。体指の方々の底力と機転のある行動力で無事閉会式を迎えることが出来ました。皆様本当にありがとうございました。

結果 元気ハツラツ

- 優勝 林校区
- 準優勝 二番丁校区
- 三位 木太北部校区
- 四位 中央校区

クイーンズ

- 優勝 香南校区
- 準優勝 木太北部校区
- 三位 太田校区
- 四位 古高松校区



優勝チームコメント

元気ハツラツ

林校区 中村 秀行

林ドッジボール部の目標は「まず一勝！」です。そして怪我なく楽しく皆の力を合わせて！大会前も回練習しています。多忙の中集まって賑やかに練習しています。大会二連覇も皆の心が「丸」となった結果だと思っています。今回は、三連覇という目標も増え今更以上練習し、大会に臨みたいと思います。

クイーンズカップ

香南校区 上原 和美

香南チームは、十代から五十代まで幅広い

い年齢層で作られています。（その中には親子が二組出場していました。）ドッジボールだからこそ、このようなチームで優勝することができるとも思いました。攻撃は攻撃に徹し、防御は防御に徹し（とりあえず逃げる？ボールを取りにいかない！）この二点をチーム一丸となつて守ったおかげで第一回にすばらしい成績を残すことができたと思います。来年も優勝を目標に参加したいと思います。お世話をしてくださった体育指導委員の皆様方がどうもありがとうございました。最後に大野チームの皆さん一緒に練習してください。ありがとうございました。次回もよろしくお願ひします。

◆「なつかしのドッジボールとはほど遠く」◆

古高松校区 森 千佳子

「ドッジボールする人集まれ」の呼びかけに集まったお母さんたち。とても明るく積極的な集団となりました。十二月初旬に行なった講習会では、ルール説明に困惑し実技では「行くよー」の声になかなかボールが届かず、ボールを投げるとラインを踏む。ボールを受けるとポロリと落すetc. 珍プレーの連続であつたという間の二時間でした。

大会当日はクイーンズカップリーグに出場し、予選第一試合はなかなかペースがつかめず、予選落ちかなあと落胆のオーラに包まれるもメイン会場での試合で火がついたのか、次々と勝利をつかみ予選を通過することが出来ました。初出場ながら四位の成績でした。五分間の勝負に「来年はリベンジー！」の声を聞き頼もしく思っています。選手の皆さん、大会関係者、体指の皆さんありがとうございました。

第20回 高松市校区别混成 ソフトバレーボール大会

副部長 池下 幸雄

この大会も二十回という節目を迎えて終わる事になりました。最後の大会で二十八校区からの参加があり、有意義に終わることが出来、体指の皆様には朝早くからコート設置、又主審、副審で大変お世話になり有難う御座いました。おかげでスムーズな進行で時間も遅れる事無く無事終わりました。

成績発表

優勝 香西校区
準優勝 香南校区
第三位 林 校区
二位グループ
優勝 太田校区
三位グループ
優勝 太田校区

ムの技には目をみはる物があり感心させられました。ソフトバレーボールはこの大会以外にも数多くの大会があり、それぞれの場所でチームの皆様の活躍を願っております。最後に、少し寂しい気持ちはありますが、この大会が変わって来年から行われるダイヤゾーンボールでは、普及部の方々の活躍を願っています。

優勝チームコメント

香西体育協会 保井 修

第20回、最後の大会で優勝できて、とても光栄に思います。

この大会が無くなるのは寂しいことです

が、大会の趣旨である「気軽に誰もが参加できるコミュニティスポーツとして普及し、市民の健康増進・体力づくり運動の振興を図ることを目的とする」は十分に達成されたと思います。

高松市体育指導委員連絡協議会のみならず、本大会にありがとうございました。



最後の大会に思う

二番丁チーム代表 竹内正秋

高松市校区别混成ソフトバレーボール大会は二十回の開催で幕引きとなり、初回から参加した私たちにとっては感慨深いものがあります。当大会を振り返って見ますと、初期のころは生涯スポーツとして比較的高齢者を対象に、競技ルールも独自のものが考案され、気楽に楽しながら健康増進・体力づくりを目的に普及が図られました。その後、この競技も次第に普及して、特に十年ほど前からは急激に競技人口が拡大し、男女区別なく幅広い年齢層で親しまれる人気スポーツに発展しました。私たち愛好者にとって、今日の発展の礎となった当大会

の役割は大きく、大会運営にご協力を頂いた関係者の方々に深く感謝いたします。

★ 初参加チームに聞きました ★

国分寺北部校区 米田 稔
初参加で最終の試合に参加でき楽しかったです。

国分寺南部校区 天雲 寛士

最後の大会に参加させていただきありがとうございました。ルールに不慣れなこともあり試合の結果は残念でしたが、親睦を深めることが出来、有意義な大会でした。今後は練習に励み多に大会で少しでも上位を目指したいと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆

第四十八回全国体育指導 委員研究協議会に参加して

麻治校区 久次米昌雄

お米とお酒は全国でも有名、そして、拉致事件と地震災害で暗いイメージを持っていた新潟で、全国の体育指導委員と社会体育関係者が約四〇〇名以上参集し、平成十九年十一月八、九日新潟市朱鷺メッセで第四十八回全国体育指導委員研究協議会が盛大に開催されました。

会場は、bリーグ新潟のホームで開かれ開会式に続いて功労



者表彰の後、早稲田大学 原田教授が「地域の魅力を高めるスポーツ振興」と題しての基調講演があり、講演の中の例として「香川プロスポーツクラブ連絡競技会の設置」(野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、アイスホッケー)が紹介され、香川はプロではあるが、地域にスポーツが密着しているのなど強い印象を受けた。

全国から体育の指導に取り組んでおられる方々の仲間の再会と情報交換の場として、年一回のお祭りのように感じられた。

初参加の感想としては「百聞は一見に如かず」、自分で直接感じる事ができ、良い経験になりました。



「がんばろう！新潟」

太田校区 片山登貴子

十一月八、九日地震の復興を願う合言葉に全国体指が新潟で開催されました。

乗りつぎを重ねてたどり着いた新潟は高松と同じ位に暖かく市内には地震の被害はありませんでした。全国から集まった五千人近い人達の熱気の中、開会式、功労と称えた表彰式が行なわれ、沢山の拍手の中で受賞された方々は輝いている様でした。早稲田大学の原田宗彦教授による基調講演「地域の魅力を高めるスポーツ振興」という題目では、スポーツは体力向上だけではなく家族の輪、地域のコミュニティ、そして経

済の活性化と発展していく基であるという内容のお話でした。二日目はきのこの公演を基盤にした内容の分科会が4会場でありどの会場も活発に発表とディスカッションが行なわれ、来年の開催地千葉県へと引きつがれて閉会となりました。その日の夕方は佐渡のバスガイドさんのお話と日本海に沈む夕日に癒されました。体指になって八年目にはじめて行く事の出来た全国体指、色々とお世話になりました。ありがとうございました。

四国地区体育指導委員 協議会会長表彰を受賞して

牟礼校区 佐藤 嘉昭

先般、鳴門市で開催されました「平成十九年度四国地区体育指導委員研修会」において、栄えある会長表彰をいただきました。これもひとえに、共に汗を流してきた体育指導委員の皆様、また関係各位の皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。

平成四年、旧牟礼町体育指導委員を拝命以来、地域のスポーツ振興とスポーツを通じたまちづくりに取り組んでまいりました。その間、地域でのスポーツイベントはもちろんのこと、国体、スポレク祭等の全国大会の運営や、地域総合型スポーツクラブ「むれスポーツクラブ」の立ち上げにも参画させていただきました。微力ながら、生懸命努めてまいりました。

平成十八年二月の市町合併により、高松市体育指導委員を拝命し、その職を続けさせていただいておりますが、これまでの経

験を活かし、新しい活力となり、今後益々の生涯スポーツの普及、市民の体力づくり等に参画して参りたいと思っています。

塩江校区 東 義昭

高松市の体育指導委員になると部会と言うものがあります。ソフト、バレー、ドッジ、広報と部会に別れてそれぞれが活躍しています。私はバレーボールの部会に入りました。

バレーボールはママさんバレーからジュニアバレーのコーチとして二十八年間続けていたのがバレー部会を選びました。高松市のルールで行くと部会の皆さんは大変やさしくおもいやりのある方ばかりでほとんどついていっています。これからも皆さん方と協力し合い指導員としてやっていきたいと思います。

第三十九回四国地区体育 指導委員研修会に参加して

庵治校区 黒石 美恵子

平成二十年一月二十六日・二十七日の両日、徳島県鳴門市内で開催された研修会に四十九名の高松市体指と共に参加しました。

一日目の「子どもの体力向上を目指した体指の役割」では石野利和先生より、子どもを取り巻く現状と対策について講演をいただきました。現代の子どもたちはテレビやゲームの時間が長くなり寝る時間も遅く睡眠不足のため朝食の欠食が増えている。学校での体育授業時間の減少や車社会に

なったため体力の低下につながっている。体力の低下を改善するために「運動・食育・正しい生活習慣」を「体とした体力の向上」とスポーツの振興が重要と学びました。

田中俊夫先生による「阿波踊り体操を活用した地域住民の健康・体力作り」の研修では徳島県は糖尿病患者が日本一多いため対策として「に運動」に「食事」に「禁煙」し「かり運動」を健康づくりの柱として阿波踊り体操の普及を実践し私たちも会場で阿波踊り体操を楽しく体験しました。

二日目は、城門会長の司会により「合併前と合併後の体指の状況」について情報交換もあり、対等合併、吸収合併による体指の人数の違いや男女の位置付けの現状も良くわかり有意義な研修会でした。

今後は「いつでも、どこでも、いつでも」誰もができる生涯スポーツ社会の実現が最も重要と感じ心に残った二日間の研修でした。



行ってきました。研修旅行!



インフォメーション

〈お見舞い〉

鬼無校区 若林美紀子さん

〈お悔やみ〉

下等居校区 高橋未純さん(実父)

編集後記

「桜のたより」、別れ、新しい出会い、今期最後の体指だよりとなりました。任期中に大勢の皆様には紙面を飾っていただき有難うございました。今後共、内容の充実を図り、「オンラインワン」の体指連を目指して頑張ります。更なるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

会長 城門 政文

発行／高松市体育指導委員

編集人／城門 政文

編集／広 報 社

印刷所／万 成 社

連絡協議会